

【今月の目次】

1. デジタル教科書研修会について
2. 研修の効率化・充実に関する取組について
3. ICT 活用ワンポイント講座（USB Type-C ケーブル）
4. コラム「日記や業務記録を ICT で書いてみませんか？」



1. デジタル教科書研修会について

本年度から、全国すべての小中学校等を対象に、小学校5年生から中学校3年生に対して英語の学習者用デジタル教科書の提供が始まりました。各学校で学習者用デジタル教科書の効果的な活用が進められていることと思います。全国的にも、学習者用デジタル教科書に直接書き込んだり編集したりといったデジタル機能の活用や、動画やドリルなどのデジタル教材との併用により「主体的・対話的で深い学び」の実践が深まるとの報告事例をはじめとして、効果的な活用に関する具体的な事例やその効果が、実践事例集やガイドブック、研修動画等で公開されています。

そのような状況のなか、山梨県総合教育センターでは、5月下旬に学習者用デジタル教科書を授業で有効に活用するための指導に向けて、その機能等を学ぶ所員研修を実施しました。算数・数学および国語の教科書発行者を講師に招き、まず学習者用デジタル教科書と指導者用デジタル教科書の違いについて説明を受けた後、各自が端末を操作しながら、授業での具体的な活用場面を体験しました。児童生徒が自分のペースで学べる点や音声や動画及びシミュレーションによる学習効果を体感しました。

学習者用デジタル教科書には、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善や特別な配慮を必要とする児童生徒等の学習上の困難低減、さらには、個別最適な学びの実現など、学習者用デジタル教科書には多くの可能性が秘められていると感じます。各学校において、引き続き児童生徒の学習の充実等を図るために、地域や学校及び児童生徒の実態等に応じて、どのように使用するかについて検討が行われていることと思います。山梨県総合教育センターでは、多くの事例を収集し、事例についての研究を進め、学校現場への指導に生かしていきたいと考えております。



2. 研修の効率化・充実に関する取組について

ICT 教育支援センターでは、研修の効率化と充実、受講の利便性を図ることを目的に、やまなし e ラーニング (YeL) の運用管理とコンテンツの充実の業務に取り組んでいます。YeL

は、研修の一部をウェブ化することにより、「いつでも」「どこでも」「何度でも」視聴することができ、研修の一部を事前に学ぶことで、研修に必要な基礎知識を習得し、受講者自身が研修内容をより深く理解することができます。YeL 視聴を必須とする研修会の一部については、開始時間を1時間程度遅らせることで、受講者の負担軽減を図っています。また、校内研修等に利用できる視聴教材を提供することで、必要に応じた短時間の研修会が可能になり、校内研修や自己の研修にも利用可能です。YeLの「ICT利活用推進」ページには、県内外の様々なICTの効果的な活用方法に関する情報や実践がまとめてあります。随時更新していますので、こちらもぜひご活用ください。また、ypecICT通信【令和6年5月号（創刊号）】では、授業実践動画についての情報を掲載しています。

さて、令和4年度に山梨県特別顧問に就任した藤原和博氏が、これまで他県で「よのなか科」授業として実施していた授業を、山梨県でも令和4年度から複数の国公立中学校、県立高校で実施しています。今年度は河口湖北中学校、都留高校、吉田高校で授業を実施しており、その授業の様子を研修の一環として先生方にご活用いただけるよう総合教育センターのホームページに掲載しています。「よのなか科」の授業は知識や経験をもとに柔軟に考えた意見を自在にアウトプットする思考技術を実践し、情報端末等を用いながら、生徒と参加する大人が自由に意見を出し合い、自らが持つ様々な知識・情報を組み合わせて思考します。各校の授業の動画は、総合教育センターのトップページ下『ピックアップ 「よのなか科」実践の様子 リンク』より視聴できますので、是非ご覧ください。なお、視聴にはYeLユーザー名・パスワードが必要になります。



3. ICT活用ワンポイント講座（USB Type-C ケーブル）

私たちの身の回りにUSB端子がたくさんあります。特に最近増えてきたのは、Type-Cと呼ばれる、丸みを帯びた長方形のものだと思います。実は、このType-Cにはたくさんの種類があります。今回は、「ケーブル」について、大まかな説明をします。

見た目は全く同じですが、大きく分けて、「充電」、「データ転送」、「映像」の3つの用途があります。メーカーによって多少の違いはありますが、「充電専用」、「充電+データ」、「充電+データ+映像」と考えてもらって良いと思います。

・充電は、大きく2種類。低電力の通常充電と、高出力のPD（PowerDelivery）対応充電です。

・データ転送は、転送速度が480Mbps、5Gbps、10Gbps、20Gbpsなどがあります。後者ほど高速です。

・映像は、映像信号に対応しているかどうかです。

残念ながら、これらはどれもケーブルの見た目では判断できませんし、多くの場合ケーブルに記載もありません。例えば、差し込み口の形が合えば充電は出来てしまいます。もし「データが転送できない」と思ったら、充電専用のものかもしれません。データの転送速度や、充電のワット数を調べる機器もありますが、種類を理解した上で目的や用途に合ったケー

ブルを購入し、よくわからないケーブルは断捨離するのも良いと思います。



4.コラム「日記や業務記録を ICT で書いてみませんか？」

普段、皆さんは日記や業務記録をつけていますか？スケジュール帳を買って満足し、3日坊主で終わってしまう私は、最近 Notion というサービスを活用し、記録をつけています。

Notion や Microsoft Loop といった多機能メモツールがあります。これらには、自由にレイアウトができたり、複数ページをまとめたりと、便利な機能がたくさんあります。中でもページのコピー機能はとても便利です。私は、毎日の記録を1ページごとにつけていますが、出勤後に前日のページをコピーし、当日分のページとして準備します。前日の記録を確認しながら前日の記録を削除し、当日の記録を残すことで、その日にやるべきことが明確になりました。また、レイアウトについても ToDo リストやカレンダーの配置など、見やすさや使いやすさを考え配置することが可能です。

これまで出来合いの手帳ではうまくいかなかったことが、これらの機能を上手に活用することで、これまでよりも見通しをもって仕事に取り組んでいます。

Notion を選んだ理由は、活用のノウハウが YouTube に多数アップロードされていること、Google カレンダーと連携できることでした。Microsoft Loop も同様のことが可能です。また、どちらも共同編集が可能で、授業などでも使えるツールです。



おまけ いまさら聞けない用語解説

今月の用語「BYOD【ビー・ワイ・オー・ディー】」

「Bring Your Own Device」の略。会社や学校等で従業員や学生が個人で所有する PC やタブレット、スマートフォンなどの端末を持ち込んで使用すること。

各校で取り組んでいることや取り組もうとしていることへの支援に加えて、ICT 機器やソフトウェア、ネットワーク等に関する相談支援や学校訪問など随時対応しております。校内研修や研究会において、ICT 教育支援センターを活用していただきたいと思います。お気軽にご相談ください。

山梨県総合教育センター ICT 教育支援センター

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1456

TEL:055-262-5508 (直) /FAX:055-262-5572

お問い合わせは [こちらへ](https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2) <https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2>

